

里親制度とは

里親制度は、健やかな育ちの場を必要とする“子どものため”の制度です。里親制度があることによって、子どもたちに家庭環境のあたたがさのもとで育つ機会をプレゼントすることができます。

その手、
届いていますか？
子どもに…

参加費
無料

要申込

※詳しくは裏面をご覧ください

定員
100名

対象

県民一般、
行政・福祉・保育・
教育・医療などの
関係者

令和6年度

里親制度普及啓発映画会

(この映画会は島根県からの委託を受けて「島根県社会福祉士会」が実施します)

サトオヤ

ときめく
キモチ

やさしい
キモチ

ささえる
ココロ

おだやかな
ココロ

知ってほしい、里親・里子のこと。知るとできることがある。

令和6年

10/6



13:00-15:30
(受付12:30~)

会場

大社文化プレイスうらら館

島根県出雲市大社町杵築南 1338-9

I 映画上映

「育ててくれて、ありがとう」

(佐野 翔音 監督/2022年制作)



II トークセッション

「もっと話そう、里親のこと」

佐野 翔音 監督、里親、里子経験者、里親希望者



佐野 翔音 監督

主催／島根県

後援(予定)／出雲市、出雲市教育委員会、出雲市社会福祉協議会、島根県里親会、島根県教育委員会、島根県社会福祉協議会、島根県医師会、島根県看護協会、島根県助産師会、島根県民生児童委員協議会、島根県保育協議会、島根県児童入所施設協議会、島根県児童養護施設協議会、島根県精神保健福祉士会、島根県医療ソーシャルワーカー協会、島根県臨床心理士・公認心理師協会、島根県立大学、山陰中央新報社(敬称略、順不同)

詳しくは裏面をご覧ください



佐野 翔音 監督

プロフィール

東京都出身。大学卒業後、映像制作会社勤務を経て、現在、フリーの映像ディレクター。これまで数百の企業映像を演出。現在も上場企業や大手メーカーの映像制作を本業とする。

2015年、『わたし、生きてていいのかな』を完成。
2017年、『こども食堂にて』では監督として制作。
社会問題である児童虐待やこども食堂をテーマにした作品を制作し、様々な子どもの問題を描く。
2018年9月から、劇場ロードショーを行い、東京、横浜、大阪、群馬、長野、神戸の映画館で公開。東京（アップリック渋谷）では、7週間のロングラン上映となった。
現在でも、日本各地で、自主上映会が開催されている。

ストーリー

長年の不妊治療の末、子供を授かることができず、里親制度を利用して弥生という女の子を里子に迎え入れた小川家。
里親である美奈子と雄介は、弥生に自身が里子であることを伝えることを決心する。
弥生はその事実をどのように受け止めるのか…
生みの親・洋子の存在を知った弥生は…弥生、美奈子、洋子、それぞれが抱える想いとは…。

(全て公式HPより引用)

その手、
届いていますか？
子どもに…

プログラム

13:00-13:05 開会挨拶

13:05-14:05 Ⅰ部 映画上映
「育ててくれて、ありがとう」
(佐野翔音監督/2022年制作)

14:05-14:15 休憩

14:15-15:25 Ⅱ部 トークセッション
「もっと話そう、里親のこと」
佐野翔音監督、
里親、里子経験者、里親希望者

15:30 閉会

閉会后 15:30-16:30 里親会、児童相談所との
相談ブースあり

参加申込書

ふりがな			
参加者氏名			
T E L		所 属	

※駐車場には限りがありますので、できる限り公共交通機関をご利用ください。

※記入いただいた個人情報は、本講演会に関する連絡等のみに使用させていただきます。

申込方法

FAXの場合



参加申込書に申込事項をご記入の上
下記までご送信ください。

Fax: 0852-28-8181

メールの場合



件名を「里親制度映画会 参加申込」として
上記申込事項をご記入の上ご送信ください。

mail: smnjacsw2@eos.ocn.ne.jp

申込締切

9/27

(金)